

第33回

'22選抜女子駅伝
北九州大会

- 期 日 / 2022年1月23日 (日)
- コース / 小倉北区・小倉城歴史の道—
八幡東区・前田二丁目西交差点
折り返し 27.2km

一般の部 5 区間 高校の部 6 区間



一般の部 1位でフィニッシュするデンソーのアンカー・松本夢佳

一般の部

新戦力台頭に手応え デンソー連覇

チームの底力を感じさせる連覇だった。移籍加入1年目の3区・松田杏奈が区間賞でトップに躍り出た。萩原監督が最も手応えを感じたのが、最長区間の最終5区を託した松本夢佳。実業団3年目で初の駅伝出走となったが、慌てないレース運びが光り、一般の部の首位を守りきった。

2位は昨秋のクイーンズ駅伝7位入賞のユニバーサルエンターテインメント。地元福岡の九電工が、アンカーの林田美咲の力走で順位を上げ3位でフィニッシュした。

東京オリンピック女子1500m 8位入賞の田中希実（豊田自動織機TC）が、引退する同学年の高松智美ムセンビ（名城大）のために編成した名城大・豊田自動織機TC連合チームが、最終区で先頭に立ち、オープン参加ながら全体のトップでゴールした。

萩原知紀・デンソー監督「挑戦と位置づけたレースで収穫があった。今後につながる明るい材料」

松本夢佳・デンソー5区「抜かれたのは力不足だが、田中選手と走れたのはプラスになる」

田中希実・名城大・豊田自動織機TC連合チーム「(友達に)最高のプレゼントができた。一生の思い出になった」



5区で後続を引き離すオープン参加の名城大・豊田自動織機TC連合チームのアンカー・田中希実

高校の部

筑紫女学園V 「次」に弾み

都大路を逃した悔しさをバネに、筑紫女学園26年ぶりに北九州路を制した。1区を任された松本明莉は序盤から積極的な走りを見せ、区間賞を獲得。2区で1秒差の2位となったものの3区で再び先頭に。5区の柳楽あずみが区間新記録の走りで後続を引き離し、その勢いそのまま6区の中才菜子は前を走るデンソーを終盤にかわし、笑顔でゴールした。

昨年12月の全国高校駅伝2位の大阪薫英女学院は序盤の遅れが響き、2位だった。3位には須磨学園が入った。

松本明莉・筑紫女学園1区「これからは自分がエースとして引っ張り、今年こそは都大路に出場したい」

安田功・大阪薫英女学院監督「そのままやっていたら優勝できるという雰囲気があったのかもしれないが、そんなに甘くはない」



高校の部 26年ぶりの優勝のフィニッシュテープを切る筑紫女学園アンカー・中才菜子